

チャレンジ工房news

第82号 平成29年1月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

裏面編集 浦部 吉久佐

イラスト Aya

新年のお喜びを申し上げます・・・

新年あけましておめでとうございます。

当工房の運営主体の尼崎障害者センターの会員の皆様をはじめ、尼崎市内の障害者関連団体の皆様、大庄地域の方々、そして所員の皆さん、スタッフの両親、友人、日々の生活を支えて下さっているヘルパーの方々の日頃からのご支援があつてからこそ、嬉しく7度目の新年を迎えられることができました。

当誌面をお借りして、スタッフ一同よりお礼申し上げます。

さて、昨年2017年は、失語症の障害を持っていて、障害の特性上、漢字がほとんど読むことが困難な所員さんを新しく迎え入れ、お互いなかなか、言葉での意思疎通が困難ななかで、ふりがな付きの分かりやすいオリジナルテキストを独自に作成したり、日々のAさんとの研修の中で思考錯誤を繰り返しながらAさんにとって、最善な方法を模索したりしながら、所員さんたちと日々パソコン研修に必死に取り組んだ1年になりました。

最近ではなかなか個々の障害の特性上、一般企業やA型・B型の作業所にいくことが困難な所員さんも増えていて、「なかなか普通に働いたり、毎日作業所に通って働くことは難しいけど、自分の小遣いぐらい、自分で稼げないようになりたい」というニーズを持った所員さんや毎日の散歩リハビリを兼ねて、通所して来られる所員さんも日頃の生活などのストレスを発散しがてら、パソコンを勉強しに来られる所員さんもいます。

このようにして、毎日工房の運營業務や所員さんとパソコン研修やオリジナルデザインのカレンダー・レターセットの当工房オリジナル自主製品の生産活動を行っていくことで、当工房も尼崎の障害者のパソコン研修の場として、日中活動の場として、必要不可欠な存在になりつつあると少しずつですが、確信が持てるようになりました。

また、昨年より地域の町内会に入会させて頂き、今までよりも地域の方々と密な関係になることができ、有り難いことに昨年、4年ぶりに開催することができた野菜市では回覧板でチラシを回して頂いたこともあって多くの地域の方に来て貰うことができました。

再来年の開所10周年に向けて、大庄地域の方々に愛されながら障害の種類や重度・軽度に関係なく、すべての障害者にとってパソコン研修の場、日中活動の場になれるような「地域活動支援センター」を目指していきたく思っています。

本年もご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

今後の予定

1/17(水) 1・17を忘れない防災訓練
13:00～15:00
大島小学校
広瀬・曲参加

2/11(日) 町内会防災訓練
※詳細は後日お知らせします



平成30年1月吉日

パソコン工房チャレンジ スタッフ一同

町内会の避難訓練に参加しましょう

今年も私たち兵庫県民にとって、決して忘れられない日になった「阪神・淡路大震災」が起こった日、1・17 が過ぎようとしています。「阪神・淡路大震災」をきっかけに、毎年1月15日～21日までを「防災とボランティア週間」と定められ、その期間中は県内各地の避難訓練や防災について考える集いが開催されています。

また今後30年以内に70%の確率で起こりえるだろうと予測されている東南海トラフ地震に備えても、今一度、地震の恐ろしさと「阪神大震災」で学んだ教訓を再認識する必要があります。

当工房では研修中に万が一、地震災害が起きたらセンタープールの3階以上に周囲の方々の助けを受けながら、避難し所員・スタッフの命を守ることを第1に考えています。

また、当工房の特性に基づいた防災マニュアルや飲料水や毛布などを備蓄品についても少しずつ整備していかないと改めて再認識している今日この頃です。

去年の暮れに、町内会の会長さんから「2月11日に地域で防災訓練をするから皆さんで参加してみないか」と有り難いことに誘って頂きました。

実際に東日本大震災で被災された障害者施設の方に「日頃から地域の避難訓練などに積極的に参加して顔なじみになっていることは災害時に避難する上で極めて重要」だとお聞きしたこともあって、来月の11日は建国記念日で休所日にあたるのですが、なるべく所員・スタッフともに研修の一環で参加したいと思えます

つきましては、所員の皆様は、通院・冠婚葬祭がない限り、当日は通所して防災訓練に参加して頂きよう、よろしく願い申し上げます。

※避難訓練に備えて、訓練当日の2/11(日)は、開所日とし10時から通常の研修を行います。

それに伴い、2/13(火)は11日の振替で臨時休所とさせていただきます。

所長 曲圭子

クリスマス会をしました

12月25日に忘年会を兼ねてクリスマス会を行いました。

用事などの事情で来れない所員さんもおられました、9名参加して下さり、賑やかなレク活動になりました。お寿司や飲み物、クリスマスケーキなどを食べながら皆さん話に花をさかせました。

普段、曜日や時間の都合でお互い会わない所員さんもいて、みんなでいろいろな話が飛び出し楽しい時間となりました。最後にみんなで景品をかけたビンゴゲームをして盛り上がりました。途中で来られた所員さんもビンゴゲームには参加してもらおうと所員さん皆、その人が席に着くのを待っていてくださったり、ビンゴのカードを用意してくださったりと所員さんの心遣いがありました。

初めて参加してくれた所員さんもおられ、なんとか楽しんでいただけたかな、と思っています。



スタッフ挨拶

早いもので工房のスタッフになり5度目の新年を迎えることができました。いつも、いろいろな方々に支えられて、これまで続けることができ本当にありがたく思っています。まだまだ、研修方法や仕事の面でも向上していかなければと思っています。一歩ずつでも前進していきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

浦部 吉久佐